

[086_04] 法政研究表紙奥付

<https://hdl.handle.net/2324/2800486>

出版情報：法政研究. 86 (4), 2020-03-13. 九州大学法政学会
バージョン：
権利関係：

九州大学法政学会

特別教育プログラム(一)

ロー・アンド・プラクティス講演会

二〇一九年六月一八日(火)

『家庭裁判所物語』と少年司法

講師 清水 聡 (日本放送協会解説委員)

二〇一九年六月二二日(金)

「松橋事件・再審無罪判決と今後の刑事司法の課題について」

下)

講師 三角 恒 (熊本県弁護士会・松橋事件主任弁護士)

二〇一九年一〇月一六日(水)

「隣国との付き合い方——韓国と日本の場合」

講師 鄭鐘休 (元駐バチカン大韓民国特命全権大使、全南大学校名誉教授)

南大学校名誉教授)

二〇一九年二月二一日(水)

「オセアニアの犯罪学——オーストラリアでの研究生活」

講師 鈴木政広 (オーストラリア、セントラル・クイーンズランド大ビジネス・法学部犯罪学部門講師)

雑報

特別教育プログラム(二) LPセミナー

法学部一年生向法律入門セミナー

講師 久富隆一 (福岡高等裁判所事務官)

丸林絵梨 (福岡地方検察庁検察官)

川瀬孝史 (福岡地方裁判所裁判官)

安武雄一郎 (弁護士)

大門 全 (福岡地方裁判所裁判官)

浦川雄基 (弁護士)

笠置泰平 (弁護士)、荒木優子 (弁護士)、

平山賢太郎 (九州大学准教授)

講演会ほか

二〇二〇年一月一〇日(金)

「死亡事故における近親者の慰謝料請求——ドイツ法と日本法を比較して」

本法を比較して」

講師 Moritz Bätz (フランクフルト大学法学部教授)

ローマ法研究会

二〇一九年一月一〇日(木)

D. 2. 15, 8, 5-6 Ulp. 5 de omn. trib.

- 報告者 五十君麻里子 (九州大学)
 二〇一九年一月二四日 (木)
- D. 2. 15. 8. 7-10 Ulp. 5 de omn. trib.
 報告者 梁田史郎 (九州大学)
 二〇一九年四月一日 (木)
- D. 2. 15. 8. 11 Ulp. 5 de omn. trib.
 報告者 菅尾暁 (九州国際大学)
 二〇一九年四月二五日 (木)
- D. 2. 15. 8. 12-14 Ulp. 5 de omn. trib.
 報告者 五十君麻里子 (九州大学)
 二〇一九年五月一六日 (木)
- D. 2. 15. 8. 15-16 Ulp. 5 de omn. trib.
 報告者 五十君麻里子 (九州大学)
 二〇一九年五月二三日 (木)
- D. 2. 15. 8. 17-19 Ulp. 5 de omn. trib.
 報告者 五十君麻里子 (九州大学)
 二〇一九年六月六日 (木)
- D. 2. 15. 8. 20-21 Ulp. 5 de omn. trib.
 報告者 五十君麻里子 (九州大学)
 二〇一九年六月二〇日 (木)
- “On the Octavius’s Formula and Turkish Approach”
- 報告者 エンジユル・アイシエ (イスタンブール大学)
 二〇一九年七月四日 (木)
- D. 2. 15. 8. 22 Ulp. 5 de omn. trib.
 報告者 五十君麻里子 (九州大学)
 二〇一九年七月一八日 (木)
- D. 2. 15. 8. 23 Ulp. 5 de omn. trib.
 報告者 五十君麻里子 (九州大学)
 二〇一九年一〇月一〇日 (木)
- D. 2. 15. 8. 24 Ulp. 5 de omn. trib.
 報告者 五十君麻里子 (九州大学)
 二〇一九年一〇月三一日 (木)
- D. 2. 15. 8. 25 Ulp. 5 de omn. trib.
 報告者 五十君麻里子 (九州大学)
 二〇一九年十一月七日 (木)
- D. 2. 15. 9. pr. Ulp. 1 opin.
 報告者 梁田史郎 (九州大学)
 二〇一九年十一月二一日 (木)
- D. 2. 15. 9. 1-2 Ulp. 1 opin.
 報告者 菅尾暁 (九州国際大学)
 二〇一九年十二月二二日 (木)
- D. 2. 15. 9. 3 Ulp. 1 opin.

報告者 五十君麻里子（九州大学）

二〇一九年二月一九日（木）

D. 2. 15. 10 Ulp. 1 resp. 11 Ulp. 4 ad ed.

報告者 梁田史郎（九州大学）

報告者 田中教雄（九州大学）

二〇一九年九月二八日（土）

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷第二五二節

報告者 上村一則（久留米大学）

二〇一九年一〇月二六日（土）

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷第二五三節

報告者 五十君麻里子（九州大学）

二〇一九年一月三〇日（土）

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷第二五四節

報告者 野田龍一（福岡大学）

二〇一九年二月二日（土）

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷第二五五節

報告者 三宮希（福岡大学）

サヴィニー研究会

二〇一九年一月二六日（土）

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷第二四八節

報告者 野田龍一（福岡大学）・三宮希（福岡大学）

二〇一九年二月二三日（土）

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷第二四九節

報告者 大久保憲章（広島修道大学）

二〇一九年四月二七日（土）

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷第二五〇節前半

報告者 梁田史郎（九州大学）

二〇一九年五月二五日（土）

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷第二五〇節後半

報告者 菅尾暁（九州国際大学）

二〇一九年六月二二日（土）

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷第二五一節

二〇一九年度春季（二〇一九年四月二〇日）

「思想形成の自由・Neil Richardsの『知的プライバシー』
論を参考に」

森口千弘（熊本学園大学）

「公正取引委員会排除措置命令・消費者庁措置命令に対

する執行停止申立」

平山賢太郎（九州大学）

二〇一九年度夏季（二〇一九年七月一三日）

「フランスにおける『大学の自由』」

堀口悟郎（九州産業大学）

「行政法学と警察法学」

原田大樹（京都大学）

二〇一九年度秋季（二〇一九年一月九日）

「ドイツ連邦憲法裁判所・第二次Nシステム決定（二〇

一八年二月一八日）」

實原隆志（福岡大学）

「行政文書作成義務について」

原島良成（熊本大学）

社会法研究会

第四七三回 二〇一九年一月十二日（土） 西南学院大学

「カナダと日本における高齢基礎年金の展開」

星野秀治（久留米大学非常勤講師）

「年金支給開始年齢引き上げが意味するもの」

丸谷浩介（九州大学）

第四七四回 二〇一九年二月二日（土） 九州大学

「イギリス労働法における賃金控除に関する権利と契約
解釈——法の適用をめぐる当事者の合意・権利義務の設
定・契約解釈」

新屋敷恵美子（九州大学）

「わが国の障害法学の論点・再考——差別禁止と社会福
祉の拮抗関係を中心に——」

河野正輝（九州大学名誉教授）

第四七五回 二〇一九年三月二日（土） 西南学院大学

「視覚障害を有する短大教員に対する職務変更命令等の
違法性——学校法人原田学園事件・広島高裁岡山支判平
成三〇・三・二九労判一一八五号二七頁」

鶴崎新一郎（九州大学大学院協力研究員）

「産業界制度の現状と改正の内容・課題」

阿部理香（九州国際大学）

「高齢者の雇用と法」

柳澤武（名城大学）

第四七六回 二〇一九年四月六日（土） 西南学院大学

「労働契約成立による契約内容決定と内容の差別化」

新屋敷恵美子（九州大学）

「戦前の労働法学…その理論と遺産——石井保雄「わが

『国労働法学の史的展開』(二〇一八年、信山社) を読む

大橋將(元日本赤十字九州国際看護大学教授)

第四八〇回 二〇一九年八月三日(土) 西南学院大学

「労働者に対する不当な身分的拘束と労働基準法」

山田晋(広島修道大学)・柳澤旭(山口大学名誉教授)

井川志郎(山口大学)

「障害者所得保障の構造と不合理性」

河野正輝(九州大学名誉教授)

「歩合給から割増賃金相当額を控除する賃金規定の有効性——国際自動車(差戻審)事件・東京高判平成三〇・二・一五判一一七三号三四頁」

「労働安全衛生法の規制対象と国の責任——『建設アスベスト訴訟』高裁四判決の検討——」

山下昇(九州大学)

柳澤旭(山口大学名誉教授)

第四八一回 二〇一九年九月七日(土) 西南学院大学

第四七八回 二〇一九年六月一日(土) 西南学院大学

「社会保険等の支払い請求事件・東京地判平成二九・九五裁判所サイト」

「定額残業代として支給された業務手当の割増賃金該当性——日本ケミカル事件・最一小判平成三〇・七・一九

丸谷浩介(九州大学)

労判一一八六号五頁」

「年休の時季決定における使用者の関わり——『不作為を基本とする義務』からの脱却——」

阿部理香(九州国際大学)

野田進(九州大学名誉教授)

「イギリスにおける公的扶助給付の過誤調整」

第四八二回 二〇一九年十月五日(土) 西南学院大学

丸谷浩介(九州大学)

「就業と育児双方における男女共同参画と『子どもの最善の利益』の実現」

第四七九回 二〇一九年七月六日(土) 西南学院大学

「善の利益」の実現」

「付加金制度・賃金請求権その他に関する消滅時効について」

西和江

いっ」

古賀修平(宮崎産業経営大学)

「イギリス労働法における年次有給休暇と手当の算定」

「医師の時間外労働時間について」

新屋敷恵美子(九州大学)

第四八三回 二〇一九年十一月二日（土） 西南学院大学

「最高裁判例法理の再検討・日立製作所武蔵工場事件・

最一小判平成三・一一・二八民集四五卷八号一二七〇頁

——就業規則の時間外労働義務の効力と労働者の同意——

山下昇（九州大学）

「フランス労働法にみる就業者統合的な規範体系の模索

——ビロード革命？」

野田進（九州大学名誉教授）

第四八四回 二〇一九年十二月七日（土） 熊本学園大学

「英米における病院の再編統合と患者の利益」

石田道彦（金沢大学）

「傷病休職中のテスト出局に基づく賃金請求の可否…N

HK（名古屋放送局）事件・名古屋高判平成三〇・六・

二六労働一八九号五一頁」

中内哲（熊本大学）

「個別労働紛争解決手続きとしての調停」

山下昇（九州大学）

（研究報告）

「買収防衛策をめぐる近時の状況と法的課題」

報告者 徳本 穰（九州大学）

（判例研究）

最決平成二九年二月二一日民集七一巻二号一九五頁

「代表取締役の選定権限を株主総会に与える定款規定の

有効性」

報告者 田中 慎一（西南学院大学）

第六九〇回例会 令和元年五月一八日（土）

（判例研究）

東京高判平成三〇年六月二八日金判一五四九号三〇頁

「株主総会の不開催が常態化していた閉鎖会社において、

全株主の同意があるとして取締役の報酬請求権が肯定さ

れた事例」

報告者 張 笑男（長崎大学）

（判例研究）

最判平成三〇年二月一七日金判一五六三号八頁

「自動車の名義上の所有者兼使用者と運行供用者責任」

報告者 板垣 太郎（長崎県立大学）

第六九一回例会 令和元年六月一五日（土）

九州大学産業法研究会

第六八九回例会 平成三一年四月二〇日（土）

〔研究報告〕

「会社の内部統制とCSR報告者の連関性——会社法制の観点からの考察——」

報告者 後藤 浩士（保健医療経営大学）

※九州法学会第一二四回学術大会に振替え

第六九二回例会 令和元年七月二〇日（土）

〔判例研究〕

東京高判平成三〇年四月一二日金判一五四四号八頁

「粉飾上場における取引先協力者の責任の有無」

報告者 濱村 実子（宮崎産業経営大学）

〔判例研究〕

東京地裁立川支判平成二九年二月二六日金判一五六六号

五一頁

「会社が業務の執行において著しく困難な状況に至り、会社に回復することができない損害が生ずるおそれあり、やむを得ない事由があるとして、会社解散請求が認められた事例」

報告者 横尾 亘（西南学院大学）

第六九三回例会 令和元年九月二二日（土）

〔研究報告〕

「自動車責任保険における故意免責と被害者救済」

報告者 佐野 誠（福岡大学）

〔研究報告〕

「会社法上の開示規制によるコーポレートガバナンスの実効性の確保」

報告者 一ノ澤 直人（西南学院大学）

第六九四回例会 令和元年一〇月一九日（土）

〔研究報告〕

「会社の目的について——デラウェア州会社法122条(12)号を素材として——」

報告者 前越 俊之（福岡大学）

〔研究報告〕

「株式の『属人的定め』に限界はあるか」

報告者 若色 敦子（熊本大学）

第六九五回例会 令和元年一月一六日（土）

〔研究報告〕

「のれんと分配規制」

報告者 牧 真理子（大分大学）

東京地判平成三〇年三月二三日消費者法ニュース一一六号

三四〇頁

「ブライダル司会養成講座において中途解約時の不返金

特約が消費者契約法により否定された事例」

報告者 泉 日出男（愛媛大学）

第六九六回例会 令和元年二月二一日（土）

〔判例研究〕

大阪高判平成二八年四月二五日判例集未登載

「法人代表者との共謀による故意免責」

報告者 嘉村 雄司（島根大学）

〔判例研究〕

神戸地判平成三〇年五月一〇日金判一五五六号三三二頁

「自動車保険約款における故意免責条項と闘争行為免責

条項」

報告者 久保田 光昭（琉球大学）

第六九七回例会 令和二年一月二五日（土）

〔研究報告〕

「会社法350条の責任——代表取締役の不法行為の範

囲について——」

報告者 高木 康衣（熊本大学）

〔判例研究〕

東京地判平成三二年一月二九日金判一五六六号四五頁

「事業譲受会社が、事業譲渡会社を利用していた標章の

一部をその商号として用いており、譲渡会社を利用して

いた各標章を用いて、同一の店舗等において、譲渡会社

のブランドと同名称のブランドを展開して、譲渡会社と

同様にハワイアン雑貨等を販売していた場合に、譲受会

社が会社法二二条一項の類推適用によって譲渡会社の債

務を譲渡会社と連帯して支払う責任を負うとされた事

例」

報告者 山崎 淳司（西南学院大学・院）

民 事 法 研 究 会

第二七七回 二〇一八年三月一〇日（土）

報告者 田畑嘉洋（大阪経済大学）

「売主の契約不適合責任に関する諸問題」

第二七八回 二〇一九年七月二〇日（土）

報告者 田畑嘉洋（熊本県立大学）

「改正民法におけるいわゆる客観的瑕疵の位置づけ——

ドイツ法を手がかりに——」

第二七九回 二〇一九年一月二三日（土）

報告者 香川崇（富山大学）

「新時効法における時効完成猶予・更新について——

明示の一部請求の訴えが提起された場合を中心として」

民事手続研究会

平成三一年三月一六日（土）

米国クラスアクションにおける「実現可能な最善の通知」について

藪田 史（久留米大学）

特定適格団体による破産申立の可能性——消費者裁判特例法の法改正

黒木 和彰（弁護士）

令和元年九月一九日（木）

判例研究 確定判決の効力を受けない第三者による再審の訴えと独立当事者参加の申出が却下された事例

松本 卓朗（九州大学）

令和元年十一月九日（土）

いわゆる（誤った判決）をめぐる素描——諫早湾干拓事業関連訴訟を題材に——

上田 竹志（九州大学）

契約の解釈と上告理由・上告受理申立理由——水俣病補償協定の解釈をめぐる裁判例の検討を手がかりに——

鶴田 滋（大阪市立大学）

福岡民事訴訟判例研究会

平成三一年一月二二日（火）

監督義務者の責任に関する近時の最高裁判例について（最一小判平成二七年四月九日民集六九卷三号四五頁、最三小判平成二八年三月一日民集七〇卷三号六八一頁）

上村 考由（福岡高裁）

平成三一年二月一五日（金）

提訴から一〇ヶ月近く経過した第五回口頭弁論期日において主張された相殺の抗弁につき、時機に後れた攻撃防御方法であるとして却下した原審の判断が違法であるとされた事例（東京高判平成二九年四月二七日）

工藤 明日香（福岡地裁）

令和元年五月二四日（金）

農地所有権に基づく放射性物質の除去請求は、請求の特定を欠く不適法な訴えとして却下すべきであるとした一方、客土工の請求については、請求が特定された適法な訴えであるとした事例（仙台高判平成三〇年三月二二日）

池田 愛（熊本大学）

令和元年六月二一日(金)

作成名義人による署名がされた文書(処分証書)に対する攻撃防御方法の一考察(大阪高判平成三〇年三月八日判時二三七八号一〇頁)

足立 正佳(福岡地裁)

令和元年七月二二日(金)

小規模個人再生において再生計画案の可決が信義則違反の行為に基づく疑いがあるとされた事例(最決平成二九年一二月一九日)

浅野 雄太(九州大学)

令和元年九月一三日(金)

貸金の支払を求める訴訟において、前訴でその貸金に係る消費貸借契約の成立を主張していた被告が同契約の成立を否認することは信義則に反するとの原告の主張を採用しなかった原審の判断に違法があるとされた事例(最判令和元年七月五日)

野上 幸久(福岡地裁)

令和元年一〇月一一日(金)

主位的予備的併合訴訟において、予備的請求を認諾する旨の陳述がされたとしても、その陳述の効力を認めなかった事例(東京高判平成三〇年二月一四日判時二三八

六号一三頁)

濱崎 録(西南学院大学)

令和元年十一月一五日(金)

弁護士法23条の2第2項に基づく照会に対する報告をする義務があることの確認を求める訴えの適否(最判平成三〇年二月二一日)

上原 ひとみ(福岡地裁)

令和元年十二月二四日(火)

改正民法の債権者代位訴訟で義務化された訴訟告知について

名津井 吉裕(大阪大学)

九州国際私法研究会

第四五回九州国際私法研究会(二〇一九年十二月一三日)

「国際会社法理論の再検討——株主代表訴訟を素材として——」

報告者 原田 央(東京大学教授)

政治研究会

二〇一九年四月二〇日

『政治研究』第六六号入評会・総会

二〇一九年五月一八日

〔抽選制議会の政治理論〕

報告者 岡崎晴輝（九州大学大学院法学研究院教授）

授・放送大学客員教授

〔政治哲学と政治的思慮〕

報告者 関口正司（九州大学名誉教授）

二〇一九年六月一五日

〔善悪の妙理——本居宣長の政治思想——〕

報告者 島田英明（九州大学大学院法学研究院准教授）

授

二〇一九年七月二〇日

〔ヒュームの宗教論と陶冶について〕

報告者 鎌田厚志（九州大学大学院法学研究院協力

研究員）

〔フランスの外交官が見た二〇世紀前後の東アジア——

モリス・クーランの書簡文に残された東アジア、そして韓

報
国——〕

報告者 李祥賢（釜山大学教養学部教授）

二〇一九年一〇月一九日

〔現代寛容論の批判理論的転回とその行方——R・フォ

アストにおける寛容の尊敬構想とコンフリクトの問題をめぐって——〕

報告者

仲井間健太（九州大学大学院地球社会統合

科学府博士後期課程）

〔英国におけるLGBTの社会的受容の過程と公共サー

ビス放送BBCの関与〕

報告者 山本雄美（福岡大学大学院法学研究科公法

専攻博士課程後期）

二〇一九年一月一六日

〔グローバルな正義の動機の探究——ナショナル・アイ

デンティティの關係的理解を手がかりに——〕

報告者 藤原拓広（九州大学大学院地球社会統合科

学府修士課程）

〔戦間期日本の対独文化交流——経済交流から文化交流

へ——〕

報告者 奥山若奈（九州大学大学院法学府修士課程）

〔知事選挙における原発再稼働問題の影響——三事例か

らの比較検討——〕

報告者 出水薫（九州大学大学院法学研究院教授）

二〇一九年二月二一日

「ポスト新自由主義時代における社会民主主義の構想について——知識の有効活用の観点から——」

報告者 徳永翔太（元九州大学大学院地球社会統合科学府）

書評会 松尾隆佑『ポスト政治の政治理論——ステークホルダー・デモクラシーを編む——』

評者 岡崎晴輝（九州大学大学院法学研究院教授・放送大学客員教授）

応答 松尾隆佑（法政大学法学部兼任講師）